



講演を行う佐多芳彦氏

源平の起源や鎌倉幕府成立を学ぶ

6月25日 文化財講演会を開催

鎌倉時代の武家の文化や生活を学ぶことを目的に、文化財講演会を葦山時代劇場で開催しました。大河ドラマの風俗考証を務める立正大学文学部教授の佐多芳彦氏が『鎌倉武士 武家文化の「始まり」』と題して、源氏と平氏の起源や、鎌倉幕府の成立までの過程を解説。講演後には、佐多氏と大河ドラマ美術プロデューサーの峯岸伸行氏がトークセッションを行い、参加者は大河ドラマ制作の裏話などに熱心に耳を傾けていました。

災害時の母子の安全を守る

6月29日 静岡県助産師会と協定を締結

大規模地震などの災害時に、母子の支援や安全を確保することを目的に、県助産師会と災害時等の母子支援に関する協定を締結しました。

協力内容は、母子に対する健康診査や健康相談、心身ケア、医療機関への搬送に関する助言などです。

締結式で、市長は「避難所では、妊産婦などに配慮しながら運営することが大切。協定の締結は大変心強い」とお礼の言葉を述べました。



協定書を手を笑顔で記念撮影



答申書の提出を受ける市長

下水道事業の安定した運営のために

6月30日 下水道事業運営審議会が答申書を提出

令和3年7月21日に市長が諮問した「下水道使用料の改定」について、伊豆の国市下水道事業運営審議会から答申書の提出を受けました。答申では、将来的に税金での下水道事業への補助をなくし、下水道利用者と未利用者の公平性を確保するため、「下水道使用料の値上げは必要である」とされています。

市では、答申の内容を踏まえ、下水道使用料の改定に向けて検討していきます。

身近にある「税」を学ぶ

7月4日 租税教室を開催

毎年行われている租税教室を、今年度は葦山小学校と長岡南小学校の6年生を対象に実施しました。授業は市の職員がイラストや映像資料を活用して説明。生活する上でかかる税金や、それが活用されて学校の設備が整えられていることなどを学びました。児童は職員からの問いかけやクイズに元気に手を挙げて回答し、授業の最後には1億円のレプリカで実際の重さを体験して、税金について興味を示していました。



楽しそうに学ぶ児童たち



ラッピング電車と記念撮影

手づくり甲冑でエイエイオー！

6月5日 甲冑コンテスト&パレードを開催

市子ども会連合会による「甲冑コンテスト&パレード」が開催されました。大河ドラマ館が設置されている葦山時代劇場から蛭ヶ島公園を目指して、手作りの甲冑を着た子ども約40人と保護者がパレードを行いました。激励に訪れた市長は「伊豆の国市をみんなで盛り上げていきましょう」と呼びかけ、子どもたちは「エイエイオー」の掛け声で元気よくパレードに出発しました。

大豆の育て方を学ぶ

6月20日 長岡北小学校5年生が大豆の種まきを体験

市のパートナーシップ事業の一環として、NPO法人あしひね舎の協力で、長岡北小学校の5年生23人が大豆の種まきを実施しました。種まきから収穫後の味噌づくりまで1年を通じて体験し、食育、農業、有機生産物について学ぶことを目的としています。

児童は教室で大豆を使った食べ物や日本の大豆の生産状況などについての講習を受けたあと、畑で土の固さや深さを体感しながら協力して種をまきました。



土の固さや深さを体感



べりるに見守られながら虫歯予防

子どもたちを癒す「べりる」

6月24日 いずのくに特命大使がフッ素塗布に登場

いずのくに特命大使となった家族型ロボット「LOVOT」のうち、1体(愛称：べりる)が、2歳6カ月児を対象としたフッ素塗布に登場しました。フッ素塗布に、泣きだす子どももいましたが、そのかわいらしい見た目やしぐさで、緊張をほぐし、その場全体を癒やしていました。

LOVOTは、今後も、健診などさまざまな場面で登場する予定です。

3年ぶりの「流しそうめん」

6月25日 ホテル観賞会&浮橋流しそうめんが開催

浮橋公民館で「ホテル観賞会&浮橋流しそうめん」が開催されました。このイベントは、浮橋まちづくり実行委員会の主催で、3年ぶりの実施となりました。

竹で作られた長さ10mほどの流し台に、浮橋区で栽培された小麦のみを使用した「浮橋そうめん」のほか、ミニトマトやお菓子も一緒に流され、参加者は、顔をほころばせながら楽しんでいました。流しそうめん終了後は、ホテル観賞も行われました。



流しそうめんを楽しむ子どもたち